

県民の皆様及び事業者の皆様へのお願い

全国的に、新規陽性者数の増加傾向が続いており、今後、年末年始における接触機会の増加により、更なる感染の拡大が懸念されます。

つきましては、保健医療体制のひっ迫を回避するため、県民の皆様及び事業者の皆様におかれましては、以下のことについてご理解、ご協力をお願いいたします。

1 感染防止対策の徹底等について

- ・ 場面や状況に応じた不織布マスクの正しい着用や、換気の励行、ゼロ密（密閉、密集、密接の全てを避ける）、こまめな手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いいたします。
- ・ 特に換気が不十分になると、クラスター発生の要因となるエアロゾル感染のリスクが高まりますので、効果的な換気の徹底をお願いいたします。
- ・ 子どもや高齢者への感染を防止するため、家庭内でも定期的な換気、こまめな手洗い等を実践し、同居する高齢者や基礎疾患のある方と会話する際にはマスクの活用などを考えてください。
- ・ オミクロン株対応ワクチンの接種は、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果と、持続期間が短い可能性はあるものの、感染・発症予防効果が期待されることから、前回接種から3か月以上経過した皆様は、年内の接種をお願いいたします。
- ・ また、小児（5歳以上11歳以下）、乳幼児（6か月以上4歳以下）ワクチンの接種について、お子様を持つ保護者におかれましては、接種の効果と副反応のリスクの双方について十分ご検討いただいた上で、ご判断ください。
- ・ 県内の薬局やドラッグストア等において無料でPCR検査・抗原検査を受けることができますので、無症状でも少しでも感染に対する不安を感じたら、積極的に無料のPCR検査・抗原検査を活用してください。
- ・ 年末年始は休みとなる医療機関が多いため、発熱等の体調不良時に備えて、厚生労働省が承認した「医療用」もしくは「一般用」の検査キットや解熱鎮痛薬等、食料や生活必需品などをあらかじめ購入しておくことをお勧めします。
- ・ 自己検査で陽性だった場合、重症化リスクの低い方は、陽性者健康フォローアップセンターに登録し、自宅での療養をお願いいたします。
- ・ また、体調悪化等により医療機関を受診する場合は、できるだけ平日の日中に受診するようご協力をお願いいたします。

2 企業活動等における感染防止対策等について

- ・ 従業員の健康管理をはじめ、「業種別の感染拡大予防ガイドライン」の遵守の徹底をお願いします。
- ・ テレワーク、時差出勤、オンラインの活用等により、出勤者数の削減など、人との接触を低減する取組みを進めてください。
- ・ 従業員に感染者や濃厚接触者が多数発生した場合に備え、自社等のBCP(事業継続計画)の作成・点検を進めてください。
- ・ 体調が優れない方や、妊婦、子どもの養育等が必要な方への休暇取得やテレワーク、時差出勤などの就業上の配慮を行ってください。
- ・ 従業員の方がワクチン接種を受けやすい環境を整備してください。
- ・ 従業員の方が療養に入る際や職場に復帰する際は、証明書の提出を求めず、医療機関のPCR結果通知や診療明細書、陽性者健康フォローアップセンターの登録確認通知メールなどによる代替についてご協力をお願いします。

3 県外との往来等について

- ・ 移動する場合には、基本的な感染防止対策の徹底や、事前・事後にPCR検査・抗原検査を活用するなど、「うつさない」、「うつらない」行動を徹底してください。
- ・ 年末年始(12月24日～1月12日)は、山形駅周辺に臨時の無料検査所が開設されますので、帰省や旅行の際には、積極的に活用してください。
- ・ また、全国の主な駅(駅周辺を含む)等にも臨時の無料検査所が開設されますので、ご活用ください。
- ・ 特に高齢者や基礎疾患のある方と会う際は、事前に陰性の検査結果を確認するとともに、早期のワクチン接種をお願いします。

4 会食等について

- ・ 会食の際も、不織布マスクの着用、こまめな手洗い、消毒、ゼロ密、換気の励行など基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ・ 職場での昼食や休憩中の飲食等も含め、会話をする際はマスクの着用を徹底してください。
- ・ 会食時の人数制限はありませんが、パーティションの設置や人と人との適切な距離を確保するなど、密にならないようにしてください。
- ・ 都道府県の認証施設など感染防止対策が講じられた施設を利用してください。
- ・ 忘年会などを行う場合は、基本的な感染防止対策とあわせ、【会食における感染防止の取組み】を再度確認し、感染防止対策を徹底してください。

マスクを外した会話・会食・カラオケが、最大の感染リスクです！

【会食における感染防止の取組み】

- ・ 飲酒は節度を守り、深酒などは控える
 - ・ 箸やコップは使い回さず、お酌はしない
 - ・ 体調が悪い人は参加しない
 - ・ カラオケを利用する場合は、十分な距離を取り、マスクを着用する
- ※ なお、弁当やテイクアウトの活用もお勧めします。

- 5 重症化リスクの高い方やワクチンを接種できない方等の感染防止について
- ・ 高齢者や基礎疾患がある重症化リスクの高い方及びそのご家族は、できるだけ感染リスクが高い行動は避けるなど感染対策を徹底してください。
 - ・ 健康上の理由等でワクチンを接種できない方への感染を防ぐため、そのご家族は感染対策を徹底してください。
 - ・ 高齢者や子どもへの感染を防ぐため、介護施設や保育施設、幼稚園、学校等に従事する方は、感染対策を徹底してください。

なお、以上の取組みについては、今後の感染状況等を踏まえ、内容を見直す場合があります。

以上

県民・来県者の皆様へのお願い

全国的に新規陽性者数の増加傾向が続いています。年末年始における接触機会の増加により、今後、さらなる感染の拡大が懸念されます。

今後も、感染対策と社会経済活動の両立を図り、医療のひっ迫を回避するため、県民の皆様や来県される皆様には、「年末年始の過ごし方」について、以下のとおりご協力をお願いします。

基本的な感染防止対策の徹底を

- ◎ 30分から1時間に1回程度、意識して窓を開けるなど、定期的な換気を心掛けましょう。
- ◎ 場面や状況に応じた不織布マスクの正しい着用、ゼロ密、こまめな手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。
- ◎ 忘新年会などを行う場合は、飲酒は節度を守り、箸やコップは使い回さないなど感染防止対策を徹底しましょう。

体調不良時に備えた事前の準備を

- ◎ 発熱などの体調不良時に備えて、新型コロナ検査キット(国が承認した「医療用」「一般用」のもの)、解熱鎮痛薬等、食料品や生活必需品をあらかじめ購入しておきましょう。

重症化リスクの低い方はセルフチェック・自宅療養を

- ◎ 重症化リスクの低い方は、発熱等の症状が出たら、まずは自己検査をしてください。検査結果が陽性だった場合は、陽性者健康フォローアップセンターに登録し、自宅での療養をお願いします。

※ 重症化リスクが高い方(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)は、かかりつけ医や発熱外来に相談してください。

医療機関の適切な受診を

- ◎ 年末年始は、多くの医療機関が休診となります。医療機関の受診を必要とする場合は、診療を行なっている医療機関へ事前に確認のうえ、診療時間内に受診するようお願いいたします。

年末年始に診療を行なっている医療機関はこちら

